



MECP の音楽ワークショップ

～音楽で「心のつながり」を感じよう～

- ① 生演奏を通じて「音楽の力」を体感します
アーティストの迫力ある演奏を、目の前でお届けします
- ② 音から想像力にアプローチし、心を豊かに動かします
その音は何を伝えたいのだろうか？ストーリーを選び想像をひろげます
- ③ 音楽に対するそれぞれの感性を認め合い、心の多様性をひろげます
みんなの異なる受け止め方を認め合い、新たな気づきを得ます
- ④ クラシック音楽のもつ、さまざまな文化を感じる耳をつくります
時代や国を超えて伝えられる文化を、具体的なトピックから体感します
- ⑤ 音楽を心で受けとめる環境をととのえます
教育現場での研鑽をつむメンバーが工夫を凝らして進行します

MECP の音楽ワークショップでは、音楽のもつ「心をつなぐ」力を実感することを目指しています。

楽しい、寂しい、優しい、悲しいなど、簡単な言葉では表しきれない気持ちについて、音楽を通じてどのように伝えているのか、想像力を働かせ、自分の心に問いかけながら感じ取って頂く活動を行います。

様々な曲を知ることや音楽の知識を得ることにとどまらず、問いかけやワークを通じて、人の心とその受け止め方はみんな違って間違いはないこと、お互いに想像し認め合うことで世界が広がることを実感します。

私たちと楽しく交流させて頂きながら、さまざまなことを感じていただければ幸いです。

★企画・演奏は、高見を中心に、様々な場所で経験を重ねたメンバーが担当します。

- 日時： ご相談ください。対象人数は約 40 人以下をお勧めしております。複数回の実施も可能です。
- 内容： クラス・学年・全校・有志問わず、授業、部活動、課外活動など、どんな形でも可能です。
生演奏とワークを中心にを行います。場面に応じて創作プログラムとの組み合わせもご提案します。
- 場所： 宮城県・東京都周辺の小中学校（その他 児童館、公民館、地域イベント等でも実施可能です）
- 費用： ボランティアとして無料で訪問しております。

お問合せ： Music Explorer Concert Project 事務局（MECP 事務局）

担当：高見 秀太郎（代表）

HP: <http://mecp-info.jimdo.com/>

Mail: mecp.info@gmail.com Tel: 080-4327-5410

仙台事務局（仙台市宮城野区）・東京事務局（東京都調布市）

●オリジナル・ワーク例 取り上げるテーマや対象に応じて、様々なワークを考案し、組み合わせて実施します。

☆「愛のあいさつ」を受け止めよう

音楽の聴き方をつくるワークです。ただ音を聴いて楽しむだけでなく、その背景を想像するきっかけとして4種類の選択肢を提示し、音が伝えようとしている思いを自分なりに感じ取る活動を通じて、より音を深くとらえます。

どんな人が、誰に愛を伝えているの？ 問いかけに対して、自分の心と音楽を結びつけます。

何名かの参加者にお話し、選んだ理由をお話頂きます。一つの演奏から生まれた、多様な感受や見方、個人の思いや背景をも音楽を媒介して共有し、認め合うことで、ここに心のつながりが生まれるのです。

☆音から気持ちの色を感じてみよう

音楽を通じて伝えたい気持ちが見えれば、どんな様子なのでしょう。言葉にできない気持ちを、音に乗せて伝える音楽。ただ一言「悲しい」「楽しい」などの言葉では伝えきれない部分を伝えるため、黒板に張ったカラフルなハートの折り紙から気持ちの色を選び、その裏に五感を駆使して想像した「気持ち」を書いていきます。

全員で色を見せ合うと、人それぞれ全く違う色を選んでいることに驚きます。そして言葉にできない気持ちから広げたその背景は、自分の思いもよらない可能性があることに気づき、一つの音楽のもつ力が、このワークによって何倍にもなったことをさらに実感します。

☆We got Rhythm!

音楽は、人の生活や思いの中で、3(リズム・メロディー・ハーモニー)+1(音色)の要素が揃ったときに生まれます。

弦楽器・管楽器・歌・ピアノだけでなく、懐かしいリコーダーや鍵盤ハーモニカ、そして身近なものを使った楽器や変な楽器も登場し、様々な音色から音楽が生まれていきます。私たちの身体も大事な材料の一つです。参加者の皆様も3つのグループに分かれ、それぞれのリズムを練習し、最後に音楽に参加して「We Got Rhythm!」となります。

石巻市立雄勝小学校・中学校 ワークショップ



石巻市立開北小学校 鑑賞ワークショップ



三鷹市立中原小学校 ワークショップ



仙台市立南中山中学校・高砂小学校・七郷小学校・東六番丁小学校(図書室開放)・丸森町立丸森中学校・松島町立松島中学校(音楽祭)・石巻市立稲井小学校・七ヶ浜町立亦楽小学校・松ヶ浜小学校・汐見小学校・女川町立女川中学校・丸森町立丸森中学校・登米市立新田中学校・気仙沼市立大島中学校・小泉小学校・南三陸町立戸倉小学校・岩手/大船渡市立盛小学校・福島/相馬市立八幡小学校・東京/調布市立第六中学校・第七中学校・YDAS(若葉/調和/杉森/北ノ台小学校)・国分寺市立第二中学校・岡山/倉敷市立箭田/二万小学校

- ・【体感・共感・共有】を軸とした授業
 - 体感→ 「非言語のコミュニケーション」を感じ取る
 - 共感→ 想像力によって自分と結び付ける
 - 共有→ 多様な可能性を知り、対話を通じて深め合う

♪「音楽で気持ちをつなぐ」とは？ — 「想像力」で「多様性を認める」

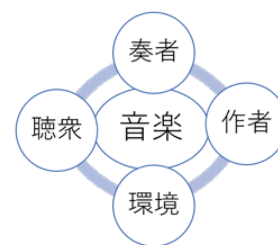
言葉では伝えられないこと。 — 音楽の力で、心をつなぐ。

音楽は国や言語の壁を越える、という言葉がありますが、私たちの考える「心のつながり」とは異なります。むしろ、壁を越えるかはさほど重要ではなく、壁の向こう側にある「心」を知って、壁ごと認め合おうとすることなのではないかと思っています。

音楽を共有した人々が口を揃えて「悲しいね」「そうだね」と言えることはなく、「どんな悲しさかな」「この類の悲しさを自分もこの間経験したな」「悲しみを繰り返さないためにどうするべきか」「自分には悲しくは聞こえないが、他の人はどうして悲しいと感じるのだろう」と、それぞれに多方面から考えるのです。

音楽のある場所は、いろんな「対話」の場所。

それは音楽を通した、いろんな人の心との対話です。音楽は、完成した物として存在しているのではなく、その人の経験や思い出に寄り添い、現在の環境や心を反映することで、一人一人にとって異なる、新たな存在となるのです。



表現活動の際にも、上記の音楽を取り巻くさまざまな要素について考え、工夫することが、活動の柱であると考えます。音楽という非言語のコミュニケーションツールに対し、私たちは想像することで意味を捉えています。同じ音楽に対するさまざまな想像を共有することで、音楽の意味は深まっていきます。このことは、唯一の正解など存在しないこの社会において、他者の多様な価値観を認めあい、自らを深めていくことにも通じます。

★「音楽的な見方・考え方」 (新学習指導要領音楽編 解説 より)

- ・音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点でとらえ、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること。



「正解」のない事柄に対して、主体的・協働的に、多角的な視点で見つめ、結びつきを想像すること
→本質的な問いに対し、多様性を認め合い、可能性を深めていく

＝音楽に限らず、社会を担う【資質・能力】
しなやかで豊かなコミュニティを生み出す力

演奏だけでなく、ワークショップの手法を活用し、「心のつながり」を実感できる工夫をしています。

音楽をとりまく「思いの輪」に対し、多角的に想像を広げ、深く見つめる授業により、表現の工夫、異文化理解、他者への思いやりなど「心を育てる」音楽科教育を目指します。

●その他のメニュー

・MECP 音楽ワークショップ 「音をつくろう！心をつなごう！」

課外活動のための創作プログラムです。まずは6本のタピオカストローを用いた五音音階のパンフルート作り。長いストローを音に合わせて切りながら、音の高低が生まれる仕組みを実感します。完成した楽器は、通常の音階を奏するには音が足りないのに、様々な曲が吹けてしまう「魔法の音」なのです。世界中で親しまれる五音音階の名曲を、簡単に演奏できるこの楽器で実際に吹き、音を紡ぐプロセスを実感します。

終わった児童は、歌詞を書いて歌を作ってみよう！のコーナーへ。歌詞のイントネーションに合わせたメロディーをつける手法で、自分の言葉から音楽へ、メンバーとともに完成させます。音楽が世界をつなぐことや、自分を表現する手段であることを実感するためのほんの入口ではありますが、自己探求のきっかけとなればと考えています。

相馬市立八幡小学校 創作ワークショップ



岩沼市立東児童館 創作ワークショップ



Music Explorer Concert Project 事務局 (MECP)

代 表：高見 秀太郎 (ピアニスト)

副代表：湯浅 江美子 (ヴィオリスト)

顧問：佐々木 歩 (桐朋学園大学附属子供のための音楽教室 講師・洗足学園音楽大学 講師)

★2016 年度 東京都社会福祉大会 都社協会長感謝状【東日本大震災等被災地支援に対する特別感謝】 拝受

★2018 年度 東京キワニスクラブ 青少年教育賞 受賞

★2018/19 年度 第7回&第8回ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞 受賞

MECPは、2013年桐朋女子高校音楽科3年生有志で立ち上げた、桐朋学園大学60期生を中心とする団体です。これまで38回の主催公演等の収益やご寄付をもとに、音楽を通じて「心をつながり」をつくるため、宮城・福島等への13回の被災地訪問を通じて、学校授業、指導、演奏会等を行うほか、学校支援、カフェコンサート、福祉施設訪問、地域イベントなど180回を超える様々な活動を行ってきました。これまで朝日新聞、毎日新聞、NHK、J-WAVE、調布FM、雑誌「サラサーテ」等に活動を取り上げられ、参加メンバーは計323名にのぼります。

18年度からは、MECPが生み出した「心をつなぐ音楽プログラム」を各地に届け、さらなる研究と深化を図ります。

★高見 秀太郎 たかみ しゅうたろう

MECP 代表・ピアニスト

大阪府出身、3歳よりピアノを始める。桐朋女子高校音楽科、桐朋学園大学音楽学部、宮城教育大学教職大学院卒業。

第19回日本クラシック音楽コンクール最高位、世界クラシック第2位、モーツァルテウム国際夏期アカデミーコンクール入賞。高校/大学 卒業演奏会・日本ピアノ調律師協会新人演奏会出演。木村 徹氏・仲道 郁代氏に師事。ピアニスト・仲道郁代のワークショップ企画に関わるなど、「心をつなげる」音楽科教育の研究と実践を行う。宮城県文化振興財団アウトリーチ登録アーティスト、「一般財団法人100万人のクラシックライブ」スタッフ・ピアニスト。各地の学校における授業・指導・ワークショップの実施、多数の演奏活動、子どもから高齢者まで多世代の様々なコミュニティをつなぐ音楽環境づくりなど、幅広く精力的に活動している。